



**「面白そう」から生まれる  
 地域活性化の新たな形**

「面白そうから始まるまちづくり～型にとられない地域の在り方～」が開催しました。

本講座では、佐伯亮太さんを講師に迎え、地域づくりの新たなアプローチについて講演が行われました。地域活性化の事例として、商店街や団地の再生、カードゲーム開発、フリーペーパー発行、公園活用などが紹介され、参加者は固定概念にとられない自由な発想の重要性を学びました。

参加者からは「地域活動がもっと自由で面白いものだと感じた」「自分たちの地域でも何かできるのではと考えるきっかけになった」などの声が寄せられました。

本講座をきっかけに、「面白そう」を軸にした地域づくりが広がるとよいですね！

日時：2025年3月1日（土）13:30～16:00  
 場所：佐賀市市民活動プラザ 会議室 401・402  
 講師：合同会社 Roof  
 共同代表 佐伯亮太さん



**歴史と文化を未来へ  
 持続可能な街づくりを考える**

さがのわ交流会「肥前佐賀の心をつなぐ、街の再生！」を開催しました。

「歴史と文化を活かした持続可能な街づくり」をテーマに、3名の講師による活動発表を聞き、グループに分かれてワークショップを行い、佐賀の魅力の深掘りをしていきました！

参加者からは「視野が広がった」「具体的な事例がとても参考になった」という声が多く寄せられ、グループディスカッションや茶話会では活発な意見交換が行われました。

新たなアイデアやつながりが生まれる、充実した時間となりました。

日時：2025年3月22日（土）13:30～16:30  
 場所：佐賀市市民活動プラザ 会議室 401・402  
 講師：  
 （特非）地域文化財研究室まちのつぎて 江島文さん  
 （株）EWM ファクトリー 福島史也さん  
 （特非）まちづくり機構ユマニテさが 庄野雄輔さん



**佐賀市市民活動プラザ** 佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル 7階

TEL : 0952-40-2002

FAX : 0952-40-2011

E-mail : plaza@tsunasaga.jp

開館時間：9時～22時

（休館日：12/29～翌年1/3）



HP



Facebook



Instagram



**さがのわ**  
 からひろげよう市民活動の

気になるワードを調べてみよう！

**プラザなんでも研究所 企業のCSR編**

CSRの環境で、企業課題の解決に企業も取り組んでいるよ！

CSRは「企業の社会的責任」の略で、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境に対しても責任ある行動を取らなければならない。

**事例**  
 企業が地域の子どもたち向けの学習支援プログラムを支援する。  
 企業が地域のNPO団体と連携し、環境保護活動を推進する。 など

企業のメリット	団体のメリット
社会的評価・ブランド力の向上	資金・物資の安定
社会課題を解決と自社サービスの価値向上の両立	活動の社会的信用の向上
従業員のモチベーション向上	広報・発信力の強化

企業の市民活動団体のメリットが相互にあります。

企業の皆さんにご協力いただき、ヒアリング調査をしたよ！

特集を読んでみてね！

企業と団体が繋がるためにどうしたらいいのかな？

**特集はこちら**



No. **22**  
 2025.04

# 企業 5 社に聞く

# 地域連携のリアル

## ～協働に向けて、私たちができること～

佐賀県内で活躍する企業 5 社にヒアリングを行い、市民活動に対する率直な印象や、協働する際に重視するポイントをうかがいました。そこから見えてきたのは、「想い」だけでは届かない現実と、「伝える力」「つなぐ人」の重要性。企業と団体がよりよい関係を築くためのヒントを、リアルな声とともにお届けします。

### Q1. 企業の立場から見た市民活動の率直なイメージを教えてください。

活動が人々の善意の上で成り立っているように感じる。

「活動すること」に没頭してしまっている人が少なく、組織基盤が不十分な団体が多いのではないかと？

現役世代が少なく、マンパワーが不足しているのではないかと感じる。また、分野によっては資金調達が難しいのではないかと？

活動や分野に対し、事前にかかわりが無い限り、わからない部分が多いと思う。

自社の限られた時間と資源の中で活動しているため、市民活動について把握するまでには至っていない。

企業側からは、市民活動に対する共感とともに、組織基盤の弱さを懸念する声もありました。また、市民活動団体の実態がつかめていないという印象を持つ企業もあるようです。活動の理解の輪を広げることが大切になりそうですね。

### Q2. 市民活動団体との協働を考えた場合、団体側に備わってほしいものは？

団体としての基本的な運営能力は持っているほしい。

外部に向けた情報発信力。どのような団体なのかを知る情報がほしい。

これまで地域からの相談や依頼を基に活動してきたが、特に感じたことはない。

現在、CSRにおいて市民活動団体との協働は考えていない。

団体を1つ1つあたって協働先を探すのは難しいので、コーディネーターがいたらと思う。

企業との協働には、団体の運営力や情報発信力が重要という声がありました。企業が協働先を探しやすくするためには、活動内容の「見える化」が必要になりそうです。また、つなぎ役となるコーディネーターの存在も鍵となります。まずはお互いを「知る」基盤づくりが必要ですね。その一歩が、地域の新たな連携を生み出すきっかけになるかもしれません。

## 企業とつながるためにできること



### 対等なパートナーになるために組織のスキルを磨こう!

企業との協働を進めるためには、団体の「運営力」や「情報発信力」が大きな鍵となります。企業の立場から見ると、市民活動団体は「想い」や「善意」に支えられている一方で、組織としての基盤が弱いと感じられることもあるようです。企業は限られた時間と資源のなかで活動しているため、協働相手を選ぶ際には「しっかりした団体かどうか」をまず見極めようと思います。団体の基盤を整えることは、企業と対等なパートナーとして関係を築いていくための第一歩です。

#### 団体の運営体制



メンバー構成・意思決定の仕組み・マネジメントなど

#### 会計・経理 資金獲得



資金管理・税務・労務・助成金補助金の獲得

#### 情報発信 広報



Web ページ・SNS 発信・活動報告・チラシ作成

#### 信頼される 団体づくり



監査報告・活動実績の積み上げ・第三者による評価



市民活動プラザ長 秋山翔太郎

プラザでは様々なスキルに関する研修・講座を開催しています。「市民活動のチカラになる研修」では、助成金の活用方法、効果的な情報発信といった運営に必要な実践的スキルを身につけることができ、「タネになる講座」では地域の課題や先進的な取り組みを学ぶことで、新たな視点や活動のアイデアが生まれるタネを提供します。あなたの活動が次のステップへと発展するための貴重な機会を、ぜひプラザで体験してください。

研修・講座 アーカイブ視聴の申し込みはこちら



### 新たなつながりづくりのために相談をしよう!

「企業とつながりたいけれど、どうすればいいかわからない」そんなときこそ、まずは地域のコーディネーターや中間支援団体に相談してみましょう。企業側からは、「市民活動を知るきっかけが少ない」「団体を自力で探すのは難しい」といった声が聞かれました。企業も団体との出会いを求めている一方で、つながる手段が見つけづらいのが現状です。「団体だけで頑張る」から「誰かに頼ってみる」へ。相談することで新たなつながりが生まれ、可能性が大きく広がります。

#### 環境分野 Aさん



どのように情報発信すれば企業に興味を持ってもらえるか、広報の工夫や資料づくりについて相談したい。

#### 福祉分野 Bさん



地域の企業とのつながり方や、マッチングの機会について知りたい。

#### 子ども分野 Cさん



活動の魅力や強みを客観的にアドバイスして欲しい。

#### 国際分野 Dさん



運営や組織づくりについて、他団体の事例や専門家の意見を参考にしたい。



市民活動プラザ長 秋山翔太郎

プラザでは、相談支援員が、来館、電話、メール、ホームページの問い合わせフォームにて相談を受け付けています。来館が難しい方には、オンラインでの相談も可能です。市民活動団体やボランティアに関する情報提供、助成金情報の紹介といった初歩的なご相談から、より専門的な解決策のご提案、専門家とのマッチングまで、幅広くサポートいたします。お気軽にご相談ください。